

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床医学総論	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	富永 一郎 ※
授 業 概 要					
各種臓器、組織における疾病の成因（異常値の出るメカニズム）、病態生理、症状、身体所見、検査法、検査値及びその診断について学習する。感染症、中毒や新型出生前診断が行われる先天性疾患（染色体疾患）についても理解を深める。教科書及び配付資料に沿って、臨床診断に直結する講義を展開する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・各疾患の病態生理や特徴について理解できる。 ・診断、診療に役立つ臨床検査法及び検査値の病態変動を理解できる。 ・アレルギー疾患の成因や特異的IgE検査（RAST）を理解できる。 ・中毒の種類とその症状及び治療に関して理解できる。 					
実務経験のある教員					
富永一郎、福田修：病院での臨床経験を踏まえ、各種疾患の成り立ちや特徴について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	心臓・循環器疾患：心不全、不整脈、先天性心疾患、虚血性心疾患				富永 一郎 ※
2	呼吸器疾患：感染性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺疾患				〃
3	消化器疾患：食道疾患、胃・十二指腸疾患、腸疾患				〃
4	肝・胆・膵疾患：ウイルス性肝炎、肝硬変、急性膵炎、胆嚢炎				〃
5	血液疾患：赤血球・白血球・血小板の病気				〃
6-7	内分泌性疾患：下垂体疾患、甲状腺・副甲状腺疾患、副腎疾患				〃
8	腎・尿路疾患、生殖器疾患：急性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全、子宮筋腫や子宮内膜症、他				〃
9	脳・神経・筋肉疾患：脳血管障害、感染症、変性疾患、脱髄疾患、認知症				福田 修 ※
10	運動器疾患（筋、骨、等）と感覚器疾患（視覚、聴覚、等）				〃
11	アレルギー・免疫病・膠原病疾患：気管支喘息、全身性エリテマトーデス、他				富永 一郎 ※
12	代謝・栄養障害：栄養障害、糖代謝異常、脂質代謝異常、他				〃
13	先天性疾患：ダウン症候群、ターナー症候群				山口 聖子
14	感染症：細菌・ウイルス・リケッチア・真菌感染症、中毒：自然毒、人工毒				富永 一郎 ※
15	皮膚疾患（皮膚炎、他）及び乳腺疾患（乳腺症、他）				〃
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・講義内容が広範囲になるので予習、復習を十分に行うこと。 ・不明な点は必ずその場で解決すること。 					
評 価 方 法					
定期試験（70%）及び月曜試験（30%）により評価する。遅刻や欠席等で月曜試験を実施しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は教育上不利にならないよう考慮する。また、再試験は月曜試験の内容を合わせて出題し、これを評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕 最新臨床検査学講座 臨床医学総論/臨床検査医学総論（著者：奈良信雄 出版：医歯薬出版株式会社） 〔参考書〕 臨床検査データブック2019-2020（監修：高久史麿 出版：医学書院） 標準臨床検査学 臨床検査学総論（著者：矢富裕 出版：医学書院） 臨床検査のガイドラインJSLM2018（発刊：日本検査医学会） 配付資料					